



脇田 広志さん
(榎本在住 77 年)
榎本・放出出身
NPO 法人理事会監事
榎本第 3 楽生会会長
(2018 年楽生会会長就任)
一番の若手！



濱田 照雄さん
(榎本在住 88 年)
榎本・放出出身
榎本第 1 楽生会会長
放出の歴史地域・中高野
街道が南北に走る 2 町会

楽生会

楽しく前向きに
生きていこう

「カラオケ・健康体操・グランドゴルフ」の 3 つの部
会を作り、年間行事としては歩こう会・菖蒲・紅葉・
梅の花に誘われての行楽会などがあります。
平成 17 年より子どもみまもり隊を組織して
週一回木曜日安全な下校を目指して 12 箇所立ち、
子どもに声を掛けています。
60 歳以上で榎本校区に居住される方は入会できます。

さて榎本、いかがです？

〈…ということでゆるゆるとプロローグ〉

濱田：放出に生まれ、放出で育ち 88 年。戦争の一番厳しい昭和 18 年に卒業した榎本小の卒業生は 250 人。今も同窓会は続いていて、昨年は 11 人。今年はどうかな。

脇田：そやな…小学校の思い出といえば、消防署を折り返してのマラソン大会。大きな建物もないから見渡せなし、ズルのしようもなかったな。

境：放出に高層マンションが建ち始めた頃、この地に。東京オリンピックの頃には東京に、万博の頃には吹田住まい。ずっとサラリーマン生活で子どもの PTA にも係ることもなく、楽生会が地域活動の始まり。

坂東：大阪は仮の住まい、老後は徳島に帰るつもりで。しかし折角建てた故郷の屋敷も 30 年間両親が住んだ後は空いたまま。広すぎて売りたいとも売れず…。

ズバリ、榎本の魅力は？

〈理由はわからんが何となく住みよい〉

濱田：寺が 2 つに神社が 1 つ。長い歴史財産をもつ放出。ずっとこの地で鉄工所をしてきたが、70 歳で車も仕事も全部卒業。11 年前に家内に先立たれたが、娘も息子も放出住まい。まだまだ百まで住みますよ。



脇田：サラリーマン時代、転職になるかなとも思っていたが、私がどこかに行こうと家族はここに住み続けると。便利やしね。特に娘には住心地良過ぎたかも (笑)

坂東：子ども 3 人が榎本小、今津中と通ううち、家内が様々な活動に参加、榎本でネットワークができ、そして手芸クラブを立ち上げ定住。

境：転職を重ねてきたが、ここに来て住まいを購入。もう動かないと覚悟を決めたのは、やはりその居心地の良さでしょう。

マイブームを教えてください

〈次は八十の手習いやな、何しよう〉

坂東：60 過ぎて子どもの勧めで夫婦でパソコンを。家内は指一本打ちで株を始め、亡くなるまで 1 日 1 回はパソコンに向かっていたね。私は独学で CAD を習得。設計が好きなので CAD なら精密な線引きができるし、酒も飲まんでパソコンで遊んでいます。

境：津軽三味線を始め 30 余年、この 10 年ほどは鶴見区の小ホールで月に 2 回、民謡の講習会を (現在は休止中)。民謡で人の役に立てばいいなと。



平均年齢は 80 歳越え。榎本地域を支える続ける楽生会 (老人会) の 4 人の会長さんにお話をお聞きしました

次世代へつなぐ・わがまち榎本へのエール

楽生会会長座談会

2020.8.5 (榎本福祉会館)

最近、災害が多いですが

〈思いもかけない災害、コロナ〉

濱田：放出は古くは水害の多いところ。児童公園の大きな石碑にも大橋房太郎さんの治水の偉業が記されていますな。

坂東：そのお陰もあってか、大阪っていうか、ここらは豪雨災害も少ないね。また大雨が降っても今津公園のポンプが作動するとみるみる引いていく。

脇田：それでも昔は雨降ったら、床下まではよく水に浸かっとな。地震に台風、コロナも予想外の災害やね。

自粛期間はどのように？

〈地域のイベントは引きこもりがちな高齢者を誘ういい機会〉

境：1 年に 20 や 30 は演奏活動をしていただけ今は中止。教室も休止中。飲みに行くのも自粛中 (笑)

坂東：コロナ以前から、特に男のひとり暮らしは外へ出てこない。年寄りが増えているのに、楽生会は減る一方。私自身 50 歳になって町会の班長になり、地域に係わり始めて 30 年。その頃に出そびれると、いよいよ億劫になるのかな。まつりや行事があると声かけて出る機会も作れるが…。



脇田：百歳体操なんか中止で、みんな家でじっとしてどうにかならんかなと心配。卓球は再開したが、みんなで集まってできることはないかなと考えている。今年は盆踊りもないしな。



ご家族のお話をお聞きしたいです

〈元気の秘訣はやはり家族愛〉

境：生家は製材業。兄弟は中学校卒業したら家業に勤めていた。私は林業試験場で技術を身に付け、28 歳の時、結婚して故郷を離れ東京へ。運輸会社でトラックの運転をしていたが大阪の営業所開設とともに転勤。35 歳過ぎて経理を習い、真面目が取り柄で勤めてきました。え、今？あはは。



坂東：最近はずっと家内の病院へ行くのが日課のようになっていたが…いくつもの病院へ出向き、夜間の付き添いも。車は特別仕様 (接近アラーム付) ですが、今はキーも取り上げられて (笑)。初盆を迎え、老後の資金計画を含め、様々な面で家内には感謝しかない。また葬儀の参列者の多さに地域との関わり方の厚さをあらためて実感。娘たちにも地域とのつながりの大切さが伝わった。「私らも出来ることはせなあかな」との感想は嬉しい。

児童の見守り活動も 15 年

〈声かけてくれるのは嬉しいな〉

脇田：馴染みの子どもも増えて、中学生や高校生も挨拶してくれるのは、長く見守り活動が続いている証拠かな。こっちからの声掛けは難しい世の

中やけど、普段でも声かけてくれるのは嬉しいな。

境：見守り活動が始まった頃の子らが働きはじめて、年金を払う歳に差し掛かってる。回りまわって助けてもらってるんかもね。

脇田・坂東：昔の子どもいうたら、上が下を見るのは当たり前。それが自然につながってゆく。夕方遅くなっても、親も「どっかで遊んでんねんやろ」ぐらいにしか思っていない。親の言うことは聞かんでも年長の子が世話してたな。今は子どもも忙しいし、自由もなくてかわいそうやな。

今後の楽生会は？

〈なんとか次へと繋げたい〉

脇田：鶴見区でも老人会は 3 分の 1 ぐらいに。大方は会長の引き継ぎが難しく潰れてゆく。本人は元気で奥さんが認知症になったり介護が必要になったりと。榎本も役員の後継でそれぞれ苦労している。歳を重ねるごとに、頼みに来られた前会長の想いが分かってきた。

榎本へのエールを！

〈これからも地域のために〉

濱田：「奉仕」という気持ちを忘れたらあきません。そしてまだまだ地域のためにがんばりたい。

坂東：地域のためにと手伝ってきた事は間違っていない。身体が続く限り楽生会のために尽くしたい。

境：地域との関係をできるだけ密にして、自分に来ることが、少しでも人の役に立てばと願っている。

脇田：会議以外で、地域でこんな風に喋ったことはない。たまにはこんな時間もええな。

本年度は敬老慰安大会の開催も見合わせられました。マスクを外し自由に語り合い外出できる日常が 1 日でも早く戻ります様に。和やかな時が流れ、癒やしの空気に満ちたこの日。地域の先輩の皆さまに心より感謝いたします。

まだまだがんばります！



皆さん揃って姿勢も美しくてダンディ♡